

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月20日

計画の名称	尼崎市狭あい道路整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	尼崎市												
計画の目標	尼崎市の阪神間都市計画防災街区整備地区計画の区域内において、「尼崎市密集市街地の道路空間整備に関する要綱」の対象となる道路等(以下「狭あい道路という。’)に接する土地において新築等を行うことにより生じる後退用地の整備及び幅員4メートル未満の狭あい道路の拡幅整備等を行い、その幅員と支障のない形状を確保することにより狭あい道路の道路空間としての状態を確保し、もって、地域住民の日常生活における利便の向上及び災害時における安全の確保を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	33	A	33	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	「尼崎市狭あい道路拡幅整備促進計画」に基づく、狭あい道路拡幅の達成割合 「尼崎市狭あい道路拡幅整備促進計画の達成割合」= (拡幅整備実績延長) / (尼崎市狭あい道路拡幅整備促進計画延長)	H28当初		H32末
		0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	尼崎市	直接	尼崎市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備(阪神間都市計画防災街区整備地区計画区域)	尼崎市						33	-	-	
												小計						33		
											合計						33			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 尼崎市において事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和3年5月
	公表の方法 尼崎市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	狭あい道路の拡幅整備を行うことで、地域住民の日常における利便の向上及び災害時における安全の確保を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も当該計画を継続し、密集市街地における狭あい道路の解消を推進する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	59%
		当初見込みよりも申請が少なかったため。